

群馬県立中央中等教育学校学校評価一覧表①（平成28年度版）

（様式1）

羅針盤			方策	第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価 (前期/後期)	外部アンケート等 (前期/後期)	改善策	自己評価 (前期/後期)	外部アンケート等 (前期/後期)	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 豊かな人間性、創造力を育成する教育活動を行っていますか。	①自ら積極的にあいさつをしていると自己評価している生徒が90%以上である。	①教師から積極的なあいさつに心がけるとともに、継続的なあいさつ運動を展開する。 ②教師が共に清掃に取り組みながら、生徒の美化意識を育む指導を行う。 ③良好な学習環境や人間関係を整える。	B	A/A	現在の取組を継続する。	A	A/A	現在の取組を継続する。
		②意欲的に清掃活動に取り組んでいると自己評価している生徒が90%以上である。		B	B/C	教師がこれまで以上に生徒と共に清掃活動や指導を行う。清掃用具の補充等により環境を整える。	C	B/B	生徒の多くは意欲的に取り組んでいるが、職員の評価は十分でない。効果的な清掃方法を再考する。
		③自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。		A	A/A	現在の取組を継続する。	A	A/A	現在の取組を継続する。
2 国際的なコミュニケーション能力を育成する教育活動を行っていますか。	2 国際的なコミュニケーション能力を育成する教育活動を行っていますか。	④英語や外国文化に興味を持っている生徒が90%以上である。	④英語に関する各科目の授業を英語で行うだけでなく、英語を用いる機会や場面を多く設ける。 ⑤関連行事の工夫・改善に努め、生徒の意欲や関心を高める。	A	A/B	現在の取組を継続するとともに、より実践的なコミュニケーション場面を想定した授業内容となるように工夫する。	A	A/A	現在の取組を継続するとともに、コミュニケーション場面に即した実践的なスキルをさらに効果的に身につけられる授業内容となるよう工夫する。
		⑤イングリッシュキャンプやスピーチコンテストなどの英語科行事や、海外修学旅行に満足している生徒が80%以上である。		A	A/B	現在の取組を継続するとともに、授業と行事の関連をより密接にしていくことで教育効果を高める。	A	A/A	現在の取組を継続するとともに、授業と行事の関連をより深め、自発的な学習を促すことで教育効果を高める。
		⑥全ての生徒が、学校行事や授業等で我が国や世界の国々の文化・伝統に触れる経験をしている。		A	A/B	現在の取組を継続するとともに、単元に関連する日本及び世界の文化を授業の内容に取り入れる工夫をする。	A	A/A	現在の取組、特に各教科における単元に関連する日本及び世界の文化を授業内容に取り入れる工夫を継続するとともに、来年度は関連する学校行事も考える。
3 日本や世界の文化・伝統を大切にする教育活動を行っていますか。	3 日本や世界の文化・伝統を大切にする教育活動を行っていますか。	⑦授業内容を理解できていると感じている生徒が80%以上である。	⑦テストの結果分析を通して生徒の理解度を計り、理解度に応じた指導を行う。 ⑧3人学級に加えて、英語や数学で少人数指導を行い、個に応じた指導を行う。	A	A/B	継続して指導を行うと同時に、理解度に応じた個別指導に力を入れる。	A	A/A	現在の指導を継続するとともに、より個々の理解に応じた指導を工夫する。
		⑧少人数指導に満足している生徒が80%以上である。		A	A/A	現在の取組を継続する。	A	A/A	少人数指導の効果を確認しながら、現在の取組を継続する。
		⑨学習動機が明確な生徒が80%以上である。		C	A/A	前期課程・後期課程ともに学習動機にかかわる内容を個人面談(二者・三者)に加え、生徒の進路目標を具体化させる指導を行う。	B	A/A	前期課程・後期課程ともに、担任を中心とする個人面談(二者・三者)を実施し、生徒の進路目標が具体化しつつある。
4 基礎・基本の確実な理解を図る指導を行っていますか。	4 基礎・基本の確実な理解を図る指導を行っていますか。	⑩家庭学習の習慣が身に付いている生徒が80%以上である。	⑩学習時間調査等の結果分析を有効活用し、指導に役立てる。	A	B/B	全校一斉の学習時間調査を実施し、その結果を今年度にとどめず次年度以降の指導にも活用する。	A	B/A	各学年が実施する学習時間調査の他に、年間行事計画に則り、2月に全校一斉の学習時間調査を実施し、その結果を活用する。
		⑪すべての教師が、「言語活動の充実」「学び合い学習」「ICTの活用」等のテーマを設定し、授業改善に取り組んでいる。		A	A	現在の取組を継続する。	A		今後も年間行事計画に全体研修(職員研修)を記載し、計画的に実行する。
		⑫すべての教師が研究授業を年1回以上、授業参観を年2回以上実施している。		A	A	現在の取組を継続する。	A		今後も管理職による授業観察等と連携し、授業参観しやすい状況を整える。
5 生徒の学習意欲を喚起する指導が充実していますか。	5 生徒の学習意欲を喚起する指導が充実していますか。	⑬教師との信頼関係を築けていると感じている生徒が80%以上である。	⑬教師からの声掛けや面談により、生徒と触れ合う機会を多く持つ。 ⑭目頃からクラス内で協働する機会を増やす。	A	A/A	現在の取組を継続する。	A	A/A	現在の取組を継続する。
		⑭クラスの間人間関係が良好だと感じている生徒が80%以上である。		A	A/A	現在の取組を継続する。	A	A/A	現在の取組を継続する。
		⑮自分の健康について意識している生徒が80%以上である。		A	B/B	健康関連情報の提供をより充実させ、興味関心を喚起する。	A	A/A	1回目より高評価であるのは、昨年のインフルエンザ禍により意識が高まったのではないかと、生徒保健委員会活動の活性化を図ることで全校生徒の健康意識をより高める。
6 教師は主体的に授業改善に努めていますか。	6 教師は主体的に授業改善に努めていますか。	⑯部活動や委員会活動に取り組んでいる生徒が70%以上である。	⑯部活動支援を充実させたり、ボランティア活動の紹介・啓発を行う。 ⑰部教員による生徒観察、面談、アンケート、保護者からの情報等により、いじめの実態を把握し、いじめ対策委員会を中心に、被害生徒・加害生徒の関係改善のために尽力する。	A	A/B	3年生から4年生にかけての部活動加入のスムーズな展開と4年次以降の部活動継続の声掛けを徹底する。	A	A/B	3年生の夏休み前に部活動オリエンテーションを実施し、入部届け提出までの期間を十分に確保し、考える時間を確保するとともに、部活動継続の声掛けを継続的に行う。
		⑰いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である		A	A/B	現在の取組を継続しつつ、よりきめ細かい対応として生徒への面談等を実施し関係を密にしておく。	A	A/A	現在の取組を継続し、いじめのない環境を作る。
		⑱各学年の特性に応じた計画的な進路指導を行っていますか。		B/A	A/A	前期課程・後期課程ともに「進路サポート」(進路教材)を活用したキャリア教育を進め、生徒一人ひとりの職業観をいっそう深化させる。 後期課程のインターンシップ参加者には、その経験をふまえた進路選択支援する。	C/A	A/A	2月に1、2年生を対象に開催する進路講演会や3月に3年生を対象に実施する研究機関訪問を活用し、学年・学級において進路意識をより明確化する指導を行う。 後期課程では、進路指導主事が進路講話を実施し、生徒が進路意識を向上させる支援を行った。
7 生徒が良好な人間関係を築けるよう組織的・継続的な指導を行っていますか。	7 生徒が良好な人間関係を築けるよう組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑲＜前期課程＞自分の特性と将来の職業とについて関連付けている生徒が70%以上である。	⑲＜前期課程＞心理テスト等で自己理解を促すとともに、学級活動で進路意識向上を図る指導を行う。 ⑳＜後期課程＞積極的にデータを活用した進路指導を実践する。 ㉑＜後期課程＞二者面談や個別指導を充実させ、生徒への支援を充実させる。	A	/A	本校卒業生の進路データや合格体験記を活用し、進路意識をより明確化する。	A	/A	年間行事計画に則り、3月に卒業生による「進路サポート」を実施し、進路意識をより明確化する。
		⑲＜後期課程＞自分の特性と将来の職業とについて関連付けている生徒が80%以上である。		A	B/A	進路講演会等の進路行事後における事後指導を充実させ、次年度の計画立案の参考とする。	A	A/A	3月発行予定のPTA通信に掲載するための、卒業生進路情報を渉外部に提供した。
		⑲＜後期課程のみ＞進学意思が明確な生徒が90%以上である。		A	C/B	各学年が必要とする進路情報を精査し、学年通信の内容として保護者に向けて発信する。	A	C/A	年間行事計画に則り、2月に1、2年生を対象に進路講演会を開催し、進路意識をより明確化する。
8 生徒は健全で健康的な学生生活を送っていますか。	8 生徒は健全で健康的な学生生活を送っていますか。	㉒子どもの進路希望を理解している保護者が80%以上である。	㉒「進路だより」や「学年通信」、講演会等を通して積極的に情報を発信する。 ㉓生徒の学年や保護者の求めに対応した行事とし、企業人講師とのふれあいや高校生インターンシップなどの体験的な学習を活用する。	A	A/A	現在が大学入試の変革期にあたることをふまえて、それに関する適切な情報を入手し、生徒・保護者に理解を促す。	A	A/A	3月に実施される保護者対象進路学習会において、保護者が必要とする進路情報を提供する。
		⑳学校からの進路情報提供に満足している生徒・保護者が80%以上である。		A	B/C	学校行事や関連する情報をタイムリーに更新することを心掛けると同時に、各分掌に内容の更新、充実を依頼する。	A	A/B	前期、後期ともに外部評価に一定の改善が見られているので、情報のタイムリーな提供を心掛け、Webページの更新を継続していく。
		㉑進路講演会や進路関連行事を各学年、年2回以上開催する。		A	A/A	現在の取組を継続する。	A	A/A	関係各部との連携を深め、より効果的な方策を模索しつつさらに進めてゆきたい。
9 各学年の特性に応じた計画的な進路指導を行っていますか。	9 各学年の特性に応じた計画的な進路指導を行っていますか。	㉒子どもの進路希望を理解している保護者が80%以上である。	㉒「進路だより」や「学年通信」、講演会等を通して積極的に情報を発信する。 ㉓生徒の学年や保護者の求めに対応した行事とし、企業人講師とのふれあいや高校生インターンシップなどの体験的な学習を活用する。	A	B/A	一斉メールの運用を適切に行うことに努めるとともに、保護者にとって有意義な情報が各部署から発信されるように努力する。	A	A/A	これまで同様一斉メールの運用を確実にするよう努め、関係各部署との連携を図る。
		㉑子どもの進路希望を理解している保護者が80%以上である。		A	B/C	引き続き、地道に美化活動を実施するとともに、活動の事実を周知するように努める。	A	A/B	これまで同様の取り組みに加えて、今年度は新しい取り組みも加わり、情報発信がさらに重要になっていく。
		㉒子どもの進路希望を理解している保護者が80%以上である。		A	A/A	現在の取組を継続する。	A	A/A	現在の取組を継続する。
10 生徒が将来の進路を選択するのに役立つ適切な情報や場を提供していますか。	10 生徒が将来の進路を選択するのに役立つ適切な情報や場を提供していますか。	㉓学校の施設・設備が整備され、安全であると感じている生徒・保護者が80%以上である。	㉓体験的要素を取り入れた内容とし、指導効果を高める。 ㉔安全点検結果を検証し、危険箇所の迅速な改善に努める。	A	A/A	より細部にわたる目配りをし、点検が形骸化しないよう留意する。	A	A/A	点検はしっかりと行われているが、多額を要するものについては未解決もある。運動場整備や照明などを重点項目として、より安全な環境作りに努める。
		㉓学校の施設・設備が整備され、安全であると感じている生徒・保護者が80%以上である。		A	A/A	現在の取組を継続する。	A	A/A	現在の取組を継続する。
		㉓学校の施設・設備が整備され、安全であると感じている生徒・保護者が80%以上である。		A	A/A	現在の取組を継続する。	A	A/A	現在の取組を継続する。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 積極的な情報発信に努めていますか。	㉔Webページを月2回以上更新する。	㉔学校の最新情報を適宜掲載する。 ㉕学校行事として計画的に開催する。	A	B/C	学校行事や関連する情報をタイムリーに更新することを心掛けると同時に、各分掌に内容の更新、充実を依頼する。	A	A/B	前期、後期ともに外部評価に一定の改善が見られているので、情報のタイムリーな提供を心掛け、Webページの更新を継続していく。
		㉕学校説明会や公開授業、授業参観をそれぞれ年1回以上実施する。		A	A/A	現在の取組を継続する。	A	A/A	関係各部との連携を深め、より効果的な方策を模索しつつさらに進めてゆきたい。
		12 保護者や地域等との連携・協力を努めていますか。		㉖学校と家庭との連絡が緊密に行われていると感じている保護者が80%以上である。	㉖PTA・学年行事や学年通信、一斉メールによる情報発信、三者面談による情報共有を積極的に図る。 ㉗生徒やPTAによる地域美化活動を実施する。	A	B/A	一斉メールの運用を適切に行うことに努めるとともに、保護者にとって有意義な情報が各部署から発信されるように努力する。	A
VI 生徒の安全確保を図っていますか。	13 生徒の安全に対する意識喚起に努めていますか。	㉘交通安全教室を年1回、防災訓練を年2回実施する。	㉘体験的要素を取り入れた内容とし、指導効果を高める。 ㉙安全点検結果を検証し、危険箇所の迅速な改善に努める。	A	B/C	引き続き、地道に美化活動を実施するとともに、活動の事実を周知するように努める。	A	A/B	これまで同様の取り組みに加えて、今年度は新しい取り組みも加わり、情報発信がさらに重要になっていく。
		㉙学校の施設・設備が整備され、安全であると感じている生徒・保護者が80%以上である。		A	A/A	現在の取組を継続する。	A	A/A	現在の取組を継続する。
		14 施設・設備の安全管理を徹底していますか。		㉚学校の施設・設備が整備され、安全であると感じている生徒・保護者が80%以上である。	㉚安全点検結果を検証し、危険箇所の迅速な改善に努める。	A	A/A	より細部にわたる目配りをし、点検が形骸化しないよう留意する。	A